

第39回

全国公害被害者総行動デー

総決起集会

6月4日(水) 18時
日比谷公会堂

6/4 水

- 11:00～大臣交渉
- 12:00～デモ行進(霞門・日比谷公園)
- 14:00～一斉各省交渉
- 18:00～総決起集会(日比谷公会堂)

6/5 木

- 8:30～早朝宣伝
- 10:00～財界各省交渉
- 12:00～まとめの行動



全国公害被害者総行動とは

全国各地の公害被害者団体などが手をたずさえてとりこんできた運動です。

1976年、政府・財界の公害対策全面後退の攻撃に対し、全国の公害被害者が立ち上りました。それ以来38年間、政府や公害発生源企業との交渉など被害者救済と公害根絶の運動にとりこんでいます。

全国公害被害者総行動は、国民のいのちと暮らし、自然環境を守る国民のみなさんの運動とむすんで発展してきました。

ストップ温暖化！原発から自然エネルギーへ

2011年3月の東日本大震災と東京電力福島原発事故から3年がすぎましたが、ふるさとを追われた数十万人はいまだに帰県できません。原発事故はいまだに、収束の目処さえたっていない。今こそ、原発に依存しない自然エネルギーへの転換を決断する時です。

異常気象による被害が頻発し、人類の生存が危ぶまれています。温暖化防止対策は待たなし。温室効果ガスを大量に出す企業の責任は重大です。石炭火発などの電力を始め、鉄鋼、自動車を入れると排出量は日本全体の約8割。見逃せないのは、私たちが苦しめてきた公害加害企業が主な発生源になっているということです。

日本政府は世界に公約した「温室効果ガス25%削減」を果たさなければなりません。第39回公害総行動はこうした活動と連帯して「南アスベスト、よみがえれ！有明訴訟、ノーモアシナマタの早期全面解決、新たな大気汚染公害被害者救済制度の実現を緊急の課題にかかげてとりくまれます。